

# 学校だより（臨時号）

令和2年1月29日

尼崎市立七松小学校

校長 森本 秀子

## 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果と本校の取組について

平成31年4月18日(木)、6年生対象に行われた「平成31年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)」の結果について分析したものをお知らせします。七松小学校の児童の学ぶ力をさらに伸ばすために、大切だと思われる内容をまとめたものです。「心豊かでたくましく 学び続ける子ども」を育成するために、学校、家庭、地域が一体となった教育活動の充実に向け、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

### 平成31年度 本校の学力状況

	国語	算数
七松小	68	72
尼崎市	60	65
全国	63.8	66.6

国語では、全国と比べておよそ4ポイントのプラス。算数においても全国と比べておよそ5ポイントのプラスとなっており、国語・算数ともに昨年度からの伸びが見られる結果でした。

### 【調査結果から】

#### 国語

〈成果〉

- ・「文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」ことが、全国平均より高い。
- ・「目的に応じて、質問を工夫する」が、全国平均より高い。
- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」ことが、全国平均より高い。

〈課題〉

- ・「図表やグラフなどを用いた目的を捉える」こと
- ・「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える」こと

〈改善方法〉

- ・授業の中で、図表やグラフなどを用いた目的について考える時間を設定したり、自分でも図表やグラフを用いたりすることに取り組む。
- ・授業の中で、記述の工夫について考える時間を増やし、文章の書かれた目的や意図について読み取る力を育成する。

#### 算数

〈成果〉

- ・「示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる」ことが、全国平均より高い。
- ・「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる」ことが、全国平均より高い。
- ・「示された除法の式の意味を理解している」ことが全国平均より高い。

〈課題〉

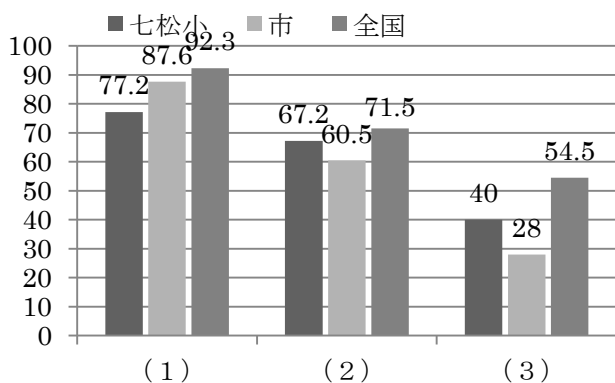
- ・「示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる」こと

- ・「資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用の増減を判断し、その理由を記述できる」こと

〈改善方法〉

- ・授業の中で、学習内容を活用して違う問題に生かしたり、考えの道筋を文章で記述したりする時間を増やし関連づけて記述したりする力を育成する。

### 児童質問紙調査（課題）

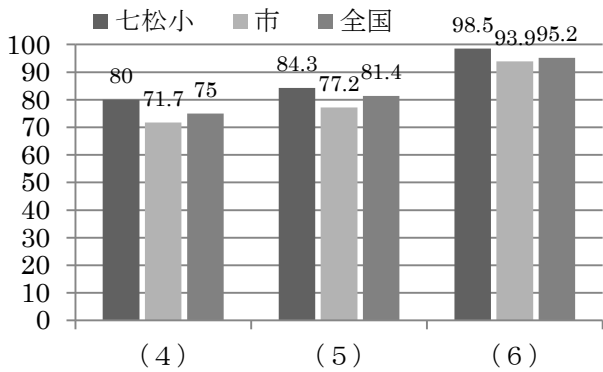


- (1) 学校のきまりを守っていますか。
- (2) 家で自分で計画を立てて勉強している。
- (3) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

3年生から「スタディプラン」を取り入れています。1週間の予定を知り、自ら考える手立てにしています。予習や復習なども、計画的に行えるようにしていきます。

保護者の皆様も、毎日チェックしていただき、コメントも含め、お声かけいただくと助かります。

## 児童質問紙調査（成果）



(4) 読書は好きですか

(5) 毎日、おなじくらの時刻に寝ていますか。

(6) 人の役に立つ人間になりたいとおもいますか。

(4)(5)などの質問では、基本的な生活習慣・学習習慣などについての項目です。基本的な生活習慣が整うと、学力が向上する傾向があります。これからも子どもたちの生活習慣が整うように、ご家庭でも声かけをよろしくお願いいたします。(6)は社会や他人への貢献についての関心を調査した質問です。

## 【調査結果を基にした学習のポイント】

### 国語

〈課題が見られたことに対する学習のポイント〉

- 1 図表を使った説明文において、それらがどのような意図で用いられているかを読み取ったり、自分でも図表を活用して文章を書いたりすることで、図表を使いこなす力を育成します。
- 2 説明文の学習において、文章構成を把握できるように、段落ごとに関連を考えたり、工夫された表現方法について話し合ったりすることで、様々な表現方法を知り、読み取る力を育成します。
- 3 文章を段落ごとに要約をしたり、一定の文字数の制限の中で自分の考えを端的に説明したりする文章を書き、子ども同士がお互いの文章を読み合い、推敲する活動を通して、論理的で端的な文章を書く力を育成します。

### 算数

〈課題が見られたことに対する学習のポイント〉

- 1 式を見てその式の目的や意味を読み取る学習では、図や表などと関係づけたり、友達の式の意味を読み取ったりする活動を通して、式には意味があることを理解し、説明できる力を育成します。
- 2 グラフや図表を正確に読み取るだけでなく、そのグラフや図表から、傾向を判断したり予測を立てたりする活動を通して、他教科や生活と関連付けて学習する態度を育成します。
- 3 問題を解くときには、一人で考える時間や話し合う時間を適宜設けて、自分の考えと友達の考えを比較することで、多様な考え方やより簡潔な方法などを探る力を育成します。

## 【本校の取組】

### 1 「七松スタイル」

授業のはじめに、1時間の授業で子どもたちが身に付ける力をはっきりさせるめあての提示と、ペアやグループで話し合いながら考えを深め、最後にその1時間でめあてを達成することができたかを振り返る授業、子どもたちが主体的・対話的に取り組む授業を行っています。

### 2 チャレンジタイム

掃除後の帯時間を使って、主に算数の基礎基本の力を定着させるように全校でプリント学習に取り組んでいます。

### 3 その他

朝の学習タイム、ノート検定、理科集会、音読集会、読書活動の推進など、継続して取り組んでいます。

## 【ご家庭へのお願い】

基本的な生活習慣は、低学年のうちに身に付けておくことが大切です。寝る時間が遅い子は早く寝るようにすると、朝も早くなり、朝ごはんがしっかりと食べられ、脳の働きもよくなります。また、テレビやゲームの時間を決め、読書や学習時間を【学年×10+10分】を目安に取り組みましょう。今後も子どもたちの成長のために、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。